

## 平成27年度 3学期終業式 式辞

平成27年度も本日で終わりとなりました。3月1日には12名の卒業生を無事送り出し、4月からは新入生を迎えることとなります。今年度はそれぞれの目標が達成できたでしょうか。

振り返ってみますと、今年度は喜ばしいことが沢山ありました。1学期には県体での数多くの部活動の全国大会への優勝、スポーツの魅力とともに皆さんの成長を過程を見ることができました。2学期には第60回定時制通信制生徒生活体験発表大会での桜木優季さんの最優秀賞受賞による全国大会への出場、自らの殻を破った一人の生徒の勇気ある弁論が大きな感動を呼びました。そして3学期には予餞会、卒業生にこめた様々な思いで会場が満たされ、心温まる会となりました。苦勞して卒業を迎える方も多く、溢れる感情で涙する卒業生がいましたが、一つの山を乗り越えた自信と次の世界に期待する希望に満ち溢れ、流す涙は努力の結晶だと感じました。

そして、今年度は様々な行事、講演会に力を注ぎました。アサーショントレーニングやグループエンカウンターによる相互を認め合う人間関係づくりのためのコミュニケーション活動を活性化しました。また、歌手のmonさんによる人権講演会では心の琴線に触れるメッセージを届けていただき、公演後多くの生徒の行列がmonさんのところにできるほどでした。人の痛みが分かる皆さんだからこそ理解できることを、講演会のなかで確認できたと思います。

本校は、学習活動だけではなく様々な行事などから人間的な成長を目指しています。皆さんが社会に出て、様々な苦勞にも対応できる力、一人で抱えないで協力し合える人間関係づくり、そして将来頼られる人となることを目指して、この学校は存在し続けます。そこを信じて皆さんは学校の指導についてきて欲しいと思います。学校での学びは必ずしも好きなことばかりではありません。また、「何故学ぶのか」後になって分かることもたくさんあります。前を向いて学ぶ意欲を失わなければ、人は必ず強くなれます。今後も皆さんが成長する様々な取り組みを行っていきますので、しっかりと頑張ってください。

来年度は皆さんにとって更に成長する年度となることを期待して式辞と致します。

平成28年3月24日(木)

校長 藤永 直也